

【面接官の印象】

1. 外国人面接官(以下 NS)について
30代と思われる若い外国の方でした。発音はアメリカ人ぽく思いました。
2. 通訳ガイド(以下 TG)について
女性の通訳ガイドで50代だと思いました。優しそうな方で日本人の方が試験のやり方について説明してくださいました。

【面接試験の実際】

メモ用紙と鉛筆は用意されていました。

1. 通訳試験について

TG	温泉が病気にいいとか、日本人は温泉にゆっくり入るとかそのような温泉に関する内容のものでした。 普通のスピードで日本人の女性が読まれ、全部はメモできなかったのが再度聞きなおしたら、受験者の公平の観点からできないと断られました。
----	---

2. 2分間プレゼンテーションについて

TG	3題のテーマが与えられ、その中から1題選択するよう指示されました。30秒間の考える時間が与えられ、1分経過した時点で女性の試験官が右手の人差し指を立てて1分経過を知られてくれました。 テーマは 「富士山」 「19世紀の日本であった大きな変化」 3つ目は残念ながら忘れてしまいました。
I	19世紀の大きな変化について話しました。江戸末期から明治にかけての変化について身分制度が廃止になり、四民平等になったことや天皇に政治的権力が返ったことなどを話しました。

3. 質疑応答について

I	僕は緊張してたので、1800年代が19世紀だとは知っていましたが、どうも1800年代を18世紀といったようで、再度19世紀の大きな変化を確認されました。鎖国政策をとっていた日本に、アメリカ人のペリー提督が日本に来て開国させ、それから明治へと移っていったことを話しました。 またそれは明治以降、今も続いているものについて質問され、明治時代は民主主義は未熟であったが、だんだんと進歩し、今も民主主義が続いているような話をしました。
---	--

【試験を終えて】

緊張していたのでうまく話せたかどうか分からないし、論理の展開に飛躍があったのかもかもしれないし、心配がいっぱいです。でもとりあえずお世話になったわけですから、知っている範囲を報告します。とりあえず、試験時間中は話を続けました。